

基本構想 (素案) からの主な変更点

1. 時代の潮流 (資料 1 0 P 4)

- ・「価値観の変化・多様化」について、地方回帰に関する表現を追加

(変更前)	(変更後)
大都市部への人口集中リスクへの認識の広がりなどに伴い、人々の価値観やライフスタイルの多様化がさらに進んでいます	大都市部への人口集中リスクへの認識の広がりに伴う <u>地方回帰の機運</u> など、人々の価値観やライフスタイルの多様化がさらに進んでいます

2. 都市像 (資料 1 0 P 8)

- ・「彩り」について、その趣旨がより分かりやすくなるよう文章表現を見直し

(変更前)	(変更後)
新たな価値や多彩な魅力を生み出し、人もまちも躍動する鹿児島市の創造を目指し、次の都市像を掲げます。	新たな価値が <u>生み出され、多彩な人材やまちの魅力が豊かな彩りとなる</u> 、人もまちも躍動する鹿児島市の創造を目指し、次の都市像を掲げます。

3. 基本目標 (資料 1 0 P 9 - 1 0)

- ・文章表現を見直し (次ページ参照)

4. 総合計画の体系図 (資料 1 0 P 1 1)

- ・基本目標「信頼とやさしさのある 共創のまち【信頼・共創政策】」の位置づけを見直し
(他の基本目標のベースとなるものとして位置づけ)
- ・各基本目標間の連携が分かるよう体系図で図示

信頼とやさしさのある 共創のまち 【信頼・共創 政策】

市民や行政、様々な地域団体や、大学、事業者、行政など多様な主体が協働・連携し、新しい価値を共に創るまちづくりを進めるとともに、健全な財政を維持し、効率的で質の高い行政サービスを展開します。

国内外の都市との連携や交流を進めるとともに、効果的な情報発信やシビックプライドの醸成などにより、まちの魅力を磨き高め、広めます。

性別や年齢、国籍などに関係なく、一人ひとりの人権や多様性が尊重され、個性と能力を発揮できる地域社会を築きます。

自然と都市が調和した うるおいのあるまち 【自然・環境 政策】

CO₂排出量の削減や再生可能エネルギーの地産地消、省エネなどの環境に配慮した生活スタイルへの転換によりを進め、市民みんなでゼロカーボンシティがごしまの実現を目指します。

ごみの3R(発生抑制:リデュース、再使用:リユース、再生利用:リサイクル)の推進によるごみの減量化・資源化や適正な処理を進め、資源が循環する地域社会を築きます。

生物多様性の保全・活用や、水と緑あふれる豊かな美しいまちづくりに取り組み、人と自然が共生し、うるおいと安らぎを感じられる環境を整えます。

魅力にあふれ人が集う 活力あるまち 【産業・交流 政策】

世界に誇れる多彩な魅力を生かした観光・交流を進めるとともに、誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整え、国内外から多くの人が集うまちをつくれます。

街なかにおける商業・観光などの魅力を創出し、にぎわいと活気を高めます。

地域産業の活力の創出や海外展開、農林水産業の振興を進めるほかとともに、雇用を創出し、若者の地元就労促進など担い手の確保に取り組むほか、多様で柔軟な働き方を促進し、地域経済を活性化します。

自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち 【健康・安心 政策】

健やかな暮らしを支える福祉サービスを充実するとともに、高齢者や障害者をはじめ、市民一人ひとりが、ともに助け支え合い、一人ひとりが生きがいを持って自分らしく生活できる地域づくりを進めます。

健康づくりや感染症対策の強化、医療体制の確保などにより、保健・医療を充実し、健康寿命を延ばします。

交通安全や防犯対策など、生活の安全性を高める取組を進めるとともに、災害などから市民の生命と、身体、財産を守るために、危機管理体制や防災力・消防力を強化し、安心して安全に暮らせるまちをつくります。

豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち 【子ども・文教 政策】

市民の結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目のない希望をかなえる支援を充実するとともに、未来の力となる子どもたちの明るく健やかな成長を支えます、安心して子どもを生き育てられるまちづくりを進めます。

子どもたちが夢と希望を持って、限りない可能性に挑戦できるよう、学校・家庭・地域・事業者などが連携・協働しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を進めます。

誰もが、生涯にわたって学び続けることができる環境を整えるほか、文化芸術や歴史に親しむことのできる市民文化を創造します。

質の高い暮らしを支える 快適なまち 【都市・交通 政策】

コンパクトなまちの実現を目指すとともに、住宅団地の活性化や街なかの整備、良好な景観づくりを進め、機能性の高い都市空間を形成します。

生活道路や上下水道など、市民の暮らしを支える生活基盤について、既にあるインフラなども有効に活用しながら効果的な整備を進め、誰もが暮らしやすいまちをつくります。

広域交通ネットワークの形成や、効率的で持続可能な公共交通体系の構築により、すべての人が使いやすい、快適・便利な交通環境を整えます。